

「第5期子ども大学はにゅう」を開催して

牛 込 彰 彦
(こども学科 教授)

平成27年度、「羽生市学びあい夢プロジェクト」の一環として実施した「子ども大学はにゅう」について、その概要を報告する。

1. 趣旨

「羽生市学びあい夢プロジェクト」の一環として、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供することにより子どもたちの健全育成を図るため、県、関係機関が連携し、子ども大学はにゅうを開催する。

2. 主催及び関係協力諸機関等

主 催：子ども大学はにゅう実行委員会

協力組織：(学) 埼玉純真短期大学・羽生市教育委員会・埼玉県教育局

(一社) 羽生青年会議所・羽生市青少年相談員協議会

羽生ロータリークラブ・(株) アロハガス

(有) シガ工芸

3. 実施方法

(1) 募集対象および人数

小学校4年生から6年生・28名

(2) 募集方法：

市広報で周知するほか、小学校を通じ対象学年全員に募集案内を配布

(3) 申込方法：

子ども大学はにゅう参加申込書に必要事項を記入の上、羽生市教育委員会生涯学習課へ提出（郵送・FAX可）。定員を超えた場合は抽選。

(4) 参 加 費：

1,000円（材料費・保険料）

(5) そ の 他：

子どもの送迎については、市内会場に限り保護者が責任を持って行う。
各回とも保護者の見学参加を可とする。

4. 学習プログラム

第1日 9月12日（土） 場所：埼玉純真短期大学

・入学式 学 長：藤田 利久（埼玉純真短期大学学長）

副学長：小島 敏之（羽生市教育委員会教育長）

実行委員長：伊藤 道雄（埼玉純真短期大学教授）

講義Ⅰ：「友達つくるのむずかしい？ けっこう楽しいよ」

高橋 努（埼玉純真短期大学講師）

講義Ⅱ：「金属を溶かして、自分だけのメダルを作ろう！」

小日向 千秋（埼玉純真短期大学講師）

第2日 10月17日（土） 場所：埼玉純真短期大学

講義Ⅲ：「角帽を作ろう」

羽生市青少年相談員協議会の皆様

講義Ⅳ：「私も先生 絵本の読み聞かせに挑戦しよう」

細田 香織（埼玉純真短期大学講師）

講義Ⅴ：「猫もフワフワ 犬もフワフワ みんなフワフワ大空へ」

牛込 彰彦（埼玉純真短期大学教授）

第3日 11月28日（土） 場所：阿部被服株式会社

講義Ⅴ：「はにゅうの産業と歴史を知ろう②」

阿部被服株式会社の皆様

第4日 12月19日（土） 場所：埼玉純真短期大学

講義Ⅵ：「“紙” とんぼの科学 ―紙とんぼはどうして飛ぶのか」

小森 洋（科学クラブ彩ねっと）

講義Ⅶ：「学習のまとめ」

牛込 彰彦（埼玉純真短期大学教授）

・修了式 学 長：藤田 利久（埼玉純真短期大学学長）

副学長：小島 敏之（羽生市教育委員会教育長）

実行委員長：伊藤 道雄（埼玉純真短期大学教授）

5. 成果

昨年度に引き続き地元ロータリークラブの協力を得、「ふるさと学」の一つとして「阿部被服株式会社」の見学を実施することができた。羽生の地は古くから藍染と被服の町として広く知られている。その流れは現在でも脈々と流れそのあらわれとして阿部被服株式会社が羽生の地にある。最新の「昇華転写」式の機械を実際に稼働させていただきその様子を見ることができた。そのスピードと正確さ、発色のきれいな様子に子どもたちも目を丸くしていた。また、プレゼントとして子ども大学はにゅうのロゴ入りTシャツをいただいた。この経験は忘れえない強い記憶として子どもたちの心に残るであろう。「はにゅうっ子」の誕生かもしれない。他にも、子どもたちが興味を持てる内容を揃えることができた。年4回の少ない回数ではあるが、5期を迎え歴史を少しずつ刻み始めたようである。この歩みを更に確かなものとするべく第6期に取り組んでいきたいと考える。

参加した子ども及び保護者の感想（抜粋）

こども

- * タワーをつくってみて、考える力がつきました。でも、すこしむずかしかったです。いちばんビリだったけれど、きずながふかまったと思います。
- * 一番楽しかったのは、メダルを作ったことです。自分だけのメダルなので世界で一つしかないメダルでもあるので、とってもうれしいです！
- * 今日、かくぼうを作って私は去年も作ったことがあって、去年より今年作ったかくぼうの方が上手にできました。楽しかったです。
- * 絵本の読み聞かせでは、本の持ち方や、読み方などを教わって、家でもやってみたいと思いました。
- * 熱した空気の上昇気流にのせて、ビニール袋をとばしたり、空気より軽いヘリウムガスで、風船をとばしたりして楽しかったです。
- * 今日は阿部被服のところで、ぬうだけではなく、プリントや名前をうっているところなどすごいなあと思いました。服を切るときはすごくはやくて、びっくりしました。私が、いちばんすごいなあと思ったところは、プリントをしているときです。1分間で早くて、すごいなあと思いました。あと、おみやげでTシャツをくれました。うれしかったです。
- * 羽生の衣料の町として昔からの歴史やできごとがよくわかりました。なかなか見られない機械も見ることができてよかったです。一番おどろいたことは、カメラのさっちだけで布を切れるということです。産業の発展を感じました。
- * 今日の学習を終えて心に残った事は、私たちの着ている服は、色々な人々達が、苦勞をかけて作っ

ている事にとても感心しました。私が心に残った所は、ゴムを入れる所やポケットの場所をぬっている所です。私には、とてもできないなと思いました。

- * 紙とんぼを作って、とばす授業がとても楽しかったです。先生の授業はわかりやすく、上手にできました。学校ではできないことなので、とてもきょうな体験となりました。
- * 4日間という短い間でしたが、本当にありがとうございました。今まで教わった事を忘れないようにします。本当に今までお世話になりました。

保護者

- * 初めてのことはとても緊張する子ですので、いつもと違う体験をさせていただきありがたかったです。違う学校のお友達とも話す機会となり、自信につながったと思います。ありがとうございました。
- * 羽生の産業を見せていただいたのがとてもよかったです。科学や話し方など、どれも今後役にたつ内容で、私が受けたいくらいでした。今後もぜひ羽生の産業・工業・伝統芸能・しごとの裏側などを見せていただき、色々な方に支えられていることを学ばせてください。生きていく上で身近な科学が好きです。生活のこんな部分に応用させているとか。廃油一せっけんとか、エコとか、生物多様性とか・・・ありがとうございました。
- * 毎日楽しく参加させていただきました。ただ同じ学校のお友達とかたまってしまう事が多かったようで、もう少し他の学校のお友達や大学のお姉さんと交流できたらよかったなと思います。
- * 今年で2年目ですので1つ1つの体験や講義がより充実したものになったと思います。
- * 勉強した内容を家庭で話をしてくれることがよくあり、学校でも発表したりしていて、よい体験となっていました。
- * 来年も参加したいと言ってます。とても良い体験ができました。
- * 男の子が少ない事が残念でした。他校、他学年と積極的に話せる機会となりました。
- * 学校では、できない学習、体験をさせていただき感謝しています。今年で最後となり残念です。ありがとうございました。